

「第 2 期下野市地域福祉計画及び地域福祉活動計画」策定のための アンケート調査の概要

1 調査に関する基本的な方針

- 方針（1） 前回調査結果からの経年変化を知る
- 方針（2） 現行計画や市の施策の浸透度を知る
- 方針（3） 市における地域福祉施策の一層の充実のための基礎データをとる

2 調査対象・期間

対象：下野市内在住の 18 歳以上市民 2, 000 名

手法：郵送配布・郵送回収 年代別無作為抽出

実施期間：平成 28 年 8 月

3 調査項目の具体的な内容

- (1) 設問数 42 (分岐の設問を含み、自由記述を含まない)

参考：前回設問数 35 (同)

- (2) 42 の設問の内訳

- 前回と同一の設問 35
- 新規の設問 7

No	内容	設問の主旨
1	問 6 保有する専門的知識や技能について	市民の社会参加、社会貢献につながる施策立案の基礎データを収集する。 (ボランティア意欲とのクロス集計をとる)
2	問 2 1 - (1) 「下野市地域福祉計画」の認知について	計画の認知状況を把握し、(低ければ) 今後の更なる周知活動実施のための参考とする。
3	問 2 1 - (2) 「下野市地域福祉活動計画」の認知について	
4	問 2 1 - (3) 地域福祉への市民参加の必要性についての認知について	市民参加に関する市民の認知状況を把握し、(低ければ) 今後の更なる周知活動の改善につなげる
5	問 2 6 - (3) 福祉情報を入手できない理由について	情報入手が困難とする市民の状況を把握し、今後の情報提供の仕方の改善に向けた参考とする。
6	問 2 8 「生活困窮者自立支援制度」の認知について	市の新しい施策の認知度を知り、今後の周知活動の参考とする。
7	問 3 1 「地域」との関わりの中での「幸福」について	幸福感の向上に向けて、地域との関わりを調査する

